

見知らぬ人との出会いには、約束をするなど計画性のある場合と、全くの偶然の場合があります。偶然の出会いも意外と多くあるケースです。偶然に思える出会いも前世からの縁によるという「袖振り合うも多生の縁」という諺もありますが、出会いが将来大きな縁になる時もあるのです。高校在学中に飛行学校に転校した私は、同じ志を抱き全国からやって来た仲間と生活を共にすることになったのです。今ではドラマやドキュメンタリー番組などで多種多様な方言を耳にする機会もありますが、当時はTVもありません。鹿児島から来た人の話が理解できず、沖縄や、当時日本領だった台湾の仲間とのコミュニケーションには相当な日数が掛かりました。その上、文化も嗜好品一つ取っても違ふので、狭い日本でこんなに異なるのかと驚いたものです。東京の学校だからと、こちらの習慣に合わせると言われても難しいでしょうし、上司や先生も必ずしも関東出身とは限りません。しかし、二ヶ月も経つとお互い歩み寄っているのを感じました。地方から来た方が関東出身の私たちに寄せる傾向があるのです。教科書などは当然標準語ですから、方言を直そうとする苦勞が見られませんでした。私も「いいじゃん」などの横浜弁を使わないように話すと、ぎこちなく感じたものです。でもいつしかその壁を越え、友情が深まったのです。

やがて敗戦により廃校になったため、目標としていた大学受験資格取得も叶わず、少々思い悩みました。しかしその頃、父が建材屋を再建する段取りをしていたので、家業を伝おうと思っていた折、たまには山下公園を見たいと思ひ、足を運んでみました。山下公園も米軍の占領地で、大棧橋も立入禁止でしたが、占領地ギリギリのところまで来た時、若い水兵が私の顔を見てニコッと笑ったのです。私も笑い返すと何やら地面を指さすのです。そこには鋳物製のマンホール蓋があり、YWWと書かれていたのです。文字は中心を囲むように書かれ、続いて横浜市水道局と書かれています。「このYWWは何？」と聞いているのだらうと、拙い英語で「ヨコハマ・ウォーター・ワークスだ」と言っていたところ、「君は英語ができるのか?」「NO」と答えると、仲間を呼んで「彼は英語が読める」みたいなことを言っているのです。その後は何を言っているのかわからなかったのですが、こっちは来いという仕事に、ついて行くとアメリカの郵便局でした。これを読んでと封書を渡され「USS KING」と言うと、読めるじゃないかと拍手してくれました。どうやらここで仕事をしないかということなのです。筆談で10時から4時、日給はいくら、毎日渡す、昼休み1時間ということは何となくわかったのですが、不思議なことに私はうなずいていました。海軍の郵便局なのでFLEET POST OFFICE(通称FPO)と書いていました。奇妙なきっかけで不思議な職場に入った私は、翌日9時半ごろに郵便局の前にいました。10時のオープンを前に彼ら6人は車で横須賀からやってきました。仕事は簡単でした。横須賀のベースから運ばれた手紙を、横浜港に停泊中の船の名前が書かれた箱に入れ、取りに来た水兵さんに証明書を提示してもらい、手紙を渡すのです。6人共いい人でした。私が手弁当(当時はみじめなものでした)で来るので、主任が交渉し、大棧橋に停泊していた船「USS マウント・オリンパス」で皆と昼食を食べることを許されたのです。日本人が一人異質な服装でいるのもおかしいということで、翌日横須賀から持って来てくれたジーンズとブルーの仕事用シャツを着て、水兵さんと同じ服装でバイキングスタイルの昼食を食べていたのです。日本人全員がひも

じい思いをしてしている時なのでラッキーでしたが、時折、家族にとKレーションという野戦食をくれる水兵さんもいて嬉しかったことを思い出します。服装も板についてきて、日系二世とも間違える人もいました。日本人で一番早くジーンズをはいたのは私ではないかと今でも思っているのです。彼らと働いてアメリカの文化、といっても西部劇やコカコーラといったものに対してですが、憧れを抱き、それが高じてどうしてもアメリカに行きたくなりました。55年前の1962年、日本人の海外渡航自由化の前に、FPOの仲間の一人オースティンが身元引受人となりビザを発行し、留学させてもらったのです。彼はサクラメント郊外でフォードのディーラーとして多くの従業員をまとめ上げ、同じカリフォルニアに住んでいたレオナルドも、片付けのためにもらい受けた船の廃材を切り、マントルピース用に販売する事業により実業家となっており、留学中に歓待を受けました。ジム・ベントは銀行員としてグラスデ堅実に家庭を築いていましたし、ウィスコンシンにいる主任だったバブ・デ・ヴァンビルはTVのプロデューサーとなり活躍していました。

横濱三塔の日 2017 記念コンサート
三塔の日を祝う～次の100年につなぐ未来への架け橋～
3月12日(日) 13時開演 横浜開港記念会館
無料(当日受付 先着300名/10時～整理券配布)
赤い靴ジュニアコーラス(ATF・青隊・赤隊I・II・III)
港中学校/仲尾台中学校 吹奏楽部横浜消防局楽隊

Mr. ジャックのつばやき
3月19日(日) 14時開演 横浜開港記念会館
市民ミュージカル出演者が100年の歴史を歌とダンスで綴るショー!そして皆で歌おう、横浜生まれの名曲!
一般999円 赤い靴関係900円/高校生以下500円
申込制・お申込みは赤い靴事務局までお願いいたします



偶然の出会いの結果、家業を手伝おうとしていた私がアメリカに留学することになりました。そして帰国後、赤い靴の女の子の像の建設以来多くの方々に支えていただいた活動が認められ、横浜文化賞をいただくことができたのです。2月9日に元町の霧笛楼で催された私の横浜文化賞受賞を祝う会に、多彩な分野でご活躍中の方々がお祝いに駆けつけ、それぞれのスタイルでお祝いの気持ちを表現してくれました。受賞の喜びと共に、これまで続けてきた文化活動の全ては、皆さんとの出会いとご尽力がなくてはならないものだという思いをかみしめていました。まさに、これまでの出会いの集大成ともいえる感慨深いひとときでした。かけがえのない方とご縁に感謝し、在りし日を懐かしむと共に、また行事に追われるでしょう。新しい出会いはもうそこから始まるのです。さて、3月9日(木)にロイヤルホール横浜で、ザ・シワクチャーズ横浜が横浜市歌を斉唱し、中区で長年町内会長を務められた方への感謝会に花を添えます。また、前回の赤い靴通信でも触れましたが、3月10日は語呂合わせで横浜三塔の日とされ、今年は11日(土)、12日(日)にイベントが行われ、3月19日(日)に、ジャックの愛称で親しまれる横浜開港記念会館で開催される記念コンサートには、赤い靴ジュニアコーラスが出演します。そして、3月19日(日)は、同じくジャックで「Mr. ジャックのつばやき」を開催し、100年の歴史を刻んだステージを歌とダンスで盛り上げ、横浜生まれの歌を皆で歌います。今回は市民ミュージカル出演者有志の方が、芸達者な持ち味を發揮し、お客さんを喜ばせることでしょう。一般999円のところ、赤い靴関係者は900円、そして高校生以下は500円です。皆様お誘い合わせの上、ぜひ観にきてください。

今後のスケジュール

| |
|--|
| 3/12(日) 横浜開港記念会館 記念コンサート 13時開演 「三塔の日を祝う～次の100年につなぐ未来への架け橋～」 赤い靴ジュニアコーラス 出演 港中学校、仲尾台中学校、横浜市消防音楽隊 入場無料 |
| 3/19(日) 横浜開港記念会館 Mr. ジャックのつばやき 一般999円⇒赤い靴関係900円 高校生以下500円 14時開演 横浜市民ミュージカル有志 |
| 4/10(月)・11(火)・12(水) 第9回 国際シニア合唱祭 「ゴールデンウェーブ in 横浜」 11日(火)11時頃～ ザ・シワクチャーズ横浜 出演 |
| 5/3(水祝) ザ よこはまパレード 吉田新田350周年記念 横浜市民ミュージカル有志 |
| 5/5(金) みなとみらいホール こどもの日コンサート 大ホール 赤い靴ジュニアコーラス (小3以上の団員) 出演 詳細は後日お知らせいたします |
| 6/11(日) みなとみらいホール 小ホール 第30期 あかいくつ定期演奏会 詳細は後日お知らせいたします |

2017・2・28
団長 松永春